

情報公開用文書

2024 年 6 月 18 日作成

研究課題名	臨床データ・患者サンプル等を用いたバイオ医薬品の薬理作用評価法・予測法の開発に係る研究
研究の対象	悪性腫瘍以外の方で、2014 年4 月から2023 年12 月に採血し包括同意を得られており横浜市立大学のバイオバンクに登録されている方(採血時、20～79 歳)。
バイオバンクから提供する検体	健常者血清 20人 検体採取日 2018年6月1日～6月30日 2019年6月1日～7月31日 2021年7月1日～7月31日 2023年7月1日～7月31日
研究目的・方法	承認後のバイオ医薬品投与前後の臨床・患者データ、タンパク質の変動を総合的に評価すれば、有効性・安全性に対する個人差の原因や、作用機序、薬効、副作用の評価・予測指標の発見につながる可能性があります。網羅的な薬理作用解析研究は困難であり少ないため、本研究ではそのような研究を実現する方法論として、機械学習を用いたアプローチを提示し、悪性腫瘍治療用抗体医薬品の薬理作用予測・評価につなげることを目的としています。 健常人血清検体数を追加することで、本研究により既に見出された薬理作用予測・評価指標候補糖タンパク質マーカーの有用性評価を行います。
研究期間	2016 年5 月2 日～2027 年3 月31日
研究に用いる試料・情報の種類	2014 年4 月から2023 年12 月に採血し、バイオバンクに登録されている悪性腫瘍以外の方の保存されている血液検体を使用します。血清中の腫瘍マーカーCA19-9 の測定は、福浦のプロテオーム解析センターで実施します。一部の細胞外小胞の解析は、外部分析機関に委託します。採血時の年齢、性別、感染の有無の情報のみ提供を受けます。
バイオバンクから提供する情報の種類	年齢、性別、検体採取年月日
この研究についての問い合わせおよびこの研究への利用を拒否する場合の連絡先： 横浜市立大学附属病院 バイオバンク室 電話：045-787-2800 メール：sentanbb@yokohama-cu.ac.jp	